

所在	宮崎県東臼杵郡門川町大字 門川尾末10760-1	事業主体	(株)フォレストエナジー門川
問い合わせ先	TEL:0982-63-6577 FAX:0982-63-6757	見学	事前に申込みが必要(有料)
施設名	バイオペレット製造プラント	運転開始年	2008年
出資比率	三菱商事株式会社60% 清本鐵工株式会社40%	原料	杉や檜の樹皮バーク等
利用法	石炭混合火力発電 加温用燃料	原料調達	有価物として引取
システムフロー (フロー図)			



(出典)株式会社フォレストエナジー門川パンフレット

システムフロー
(施設全景)



<p>施設仕様</p>	<p>設備形式: 新開発の破削機・微粉碎機・気流乾燥システム 設備規模: 14,000t/年～25,000t/年 破削機: 東亜技研製 微粉碎機: 東亜技研製 気流乾燥: 多段サイクロン型 ペレタイザー: CPM製</p>
<p>運転状況</p>	<p>①バイオマス受け入れ: 東北の製材所、原木市場を中心にハーク(樹皮)の受け入れ ②原料調達費: 有価物として弊社が購入 ③平成20年の実績: 200t(試験運転) ④処理済バイオマス: 少量の燃焼灰が発生</p>
<p>コスト (イニシャルコスト)</p>	<p>総事業費: 659,295千円(うち地域バイオマス利活用交付金事業313,950千円) 国庫補助金(313,950千円)の他は親会社の資金</p>
<p>コスト (ランニングコスト)</p>	<p>電気代: 15%、原料費: 10%、人件費: 15%、減価償却費: 50%、その他: 10%</p>
<p>事業開始の背景</p>	<p>地球温暖化対策、バイオマス資源の利活用</p>
<p>効果</p>	<p>①従来の破砕機では処理が困難であった杉や檜の樹皮(バーク)でも、大量且つ効率的にペレットにすることができる ②水分が50%を超える原料でも、新開発の多段階気流乾燥システムにより、わずかなエネルギーで乾燥させることができる ③自動制御により、夜間の省力運転が可能となる ④世界基準となる1ライン3.0～4.0t/hrの製造能力を有する ⑤温風発生器の燃焼には、木質ペレットを使用</p>
<p>施設運営上の課題</p>	<p>①原料品質が安定してないため、プラント設備に損傷を与えることがある ②原料確保</p>